

国際交流員マシアスのコラム

ケルン近郊の村「チュンドルフ」 (Zündorf)

わが故郷

私は、8月から下野市の国際交流員になったマシアス・ブリックストーフ(Matthias Bittersdorf)です。今月は、私の故郷を紹介したいと思います。

2012年にノーベル平和賞を受賞し、平和の象徴になった欧州連合(EU)は1995年に発足し、1999年に単一通貨のユーロを導入しました。今では加盟国の28

か国が国境をお互いに開いており、ドイツから他のヨーロッパの国へ旅行する時には旅券やビザなどを持つ必要がありません。しかし、

欧州連合ができる前は今と違って、ヨーロッパの国境には国境管理がありました。さらに、現在ある

国はむかし多くの国々に分かれていたので、国境が今よりもたくさんあり、特にドイツでは、12〜18

世紀まで300の小さな国に分かれていました。そして、その小さい

国々は国境を行き来する旅人から関税を徴収することができました。その時代の名残は私が生まれた

「チュンドルフ」(Zündorf)と言う村に今でも残っています。



「チュンドルフ」はドイツの有名な街ケルンの南に位置し、ライン川が通っています。その村には、13世紀末にライン川沿いに建てられた「ツォルトム」(Zollturm)というやぐらがあります。当時、そこからは、ライン川の船の往来をよく見ることができ、ケルン方面に行くすべての船はそこで関税を払いました。今ではそのやぐらは博物館になっていて、ケルンの芸術家の作品が展示されています。実は、そのたくさん建っていた「ツォルトム」の内、半分くらいは焼き払われてしまいました。すぐに元通りに修復され、今ではその痕さえわからないほどです。

美しきライン川

「チュンドルフ」では、ライン川伝いにケルンの方へ12kmほど散歩することができ、ドイツの雄大な自然や中

世ヨーロッパの雰囲気を感じることができ。川沿いにはレストランが多数あり、そのほとんどが同じ名前で「ラインブリック」(ライン川を望む) (Rheinblick) といえます。ライン川沿いはどこを見ても感動的な景色なので、ぜひ機会があれば訪れてみてください。



下野市国際交流協会 会員募集!

下野市国際交流協会では、随時会員の募集を行っています。

ご入会いただきますと、年に3回ほど発行される会報(イベント・パーティー等各種行事の案内が記載されます)が届くほか、語学講座(英語・ドイツ語・中国語・韓国語)の受講ができるようになります。

外国に興味のある方、外国人と交流してみたい方はぜひ入会をご検討ください。

年会費、問い合わせ先は次のとおりです。皆さまのご入会をお待ちしています。

■年会費

- ・個人会員 一口 1,000円
- ・学生会員 一口 500円
- ・ファミリー会員 一口 2,000円
- ・法人会員 一口 5,000円

■申し込み・問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局(国分寺庁舎2階 生活安全課内)
☎(40)5555
✉ seikatsu@city.shimotsuke.lg.jp

携帯電話市ホームページ



■人口と世帯 (9月1日現在)
人口 / 60,208人(+19)、男性 / 29,980人(+17)、女性 / 30,228人(+2)、世帯数 / 22,498世帯(+17)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎ 0285 (40) 5550 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ市ホームページ

